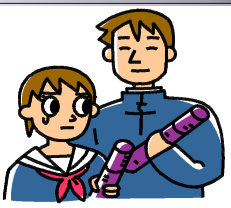
夢と志【学校通信】

平成 27 年 3 月 12 日
第 78 号

西中の風

～『信頼と笑顔、品位を備えた成長』～

伊丹市立西中学校長
豊田　實



第六十六回卒業証書授与式　　式　　辞

梅の花の香りが漂い、春の息吹が感じられる頃となりました。新しい生活を始めようとしている若者を祝福するにふさわしい季節の訪れです。本校第六十六回卒業証書授与式を挙行するにあたって伊丹市教育委員長職務代行者　川畑徹朗　様をはじめとして、ご来賓の皆様にご臨席いただき厚くお礼申し上げます。今日の佳き日を迎えられた179名の卒業生の皆さん、おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業誠におめでとうございます。お子様は中学校を卒業することによって9年間の義務教育を修了します。長年のご労苦に対しまして改めて敬意を表しますとともに、心よりお祝い申し上げます。

本校は教育方針を「信頼と笑顔、品位を備えた成長」としておりました。3年生学年通信「絆」に掲載される生徒の感想文は信頼という方針が生徒たちの意欲と行動に影響を与えており感性溢れる記述となりました。来校者を教室へ招いた時に、もてなすことのできる自信が生徒たちにはありました。皆さんの自尊感情を備えた育ちに教育関係者は感心されています。

まとまりよく行事を楽しむ学年集団でした。一番に思い出すことは、一昨年、卒業生の皆さんが2年生の時の伊丹市中学校連合体育大会での行進です。心を一つにした美しい行進は、皆さんの誇りとなりました。修学旅行では、鹿児島の街をクラスメートと散策し、お楽しみ会も上手に盛り上がりました。きょうだい学級で下級生と共に活動した際にはにこやかに上手に発表したこと、総合体育大会壮行会での各部活動キャプテンのしっかりとした誓いや激励は、下級生のお手本となりました。市内外教育関係者から本校の教育活動を見るため訪問したいという申し出を受けた時には、幾度かは合唱練習期間に招待していました。皆さんがグループ毎に工夫してコーラスを作り上げる姿は中学生としての輝きがあったからです。納涼ふれあい夏祭りでは、熱心なPTA活動があります。地域の方とともに、お父さんとお母さんたち、先生たちも協力して出店を営みました。皆さんも祭りに出かけて、大人とふれあい談笑する光景がありました。祭りを主催する地域の皆さんは生徒のお手伝いに大いに喜ばれていたのです。

人生の転機に立つ皆さんへお話しているわけですが、先の受検（受験）でくやしい思いをした人もうつむくことはない。一度の結果にくじけないで今後の生活で挽回すればよいのです。やりたいことを実現すればよいのです。人生には多くのチャンスがあることを信じてください。移りゆく社会を考えてみましょう。卒業生の皆さんは西暦1999年と2000年生まれです。20世紀を締めくくる頃に誕生したのです。現在2015年、義務教育を終えた今、君たちが誕生してから今日までの科学技術の進歩と社会変革のいくつかを挙げてみましょう。IT革命、携帯・スマートフォンなどの通信革命、テレビ放送では地上デジタル放送が始まりました。LEDの大量生産による省エネ化が進んでいること、医療分野では2006年iPS細胞（人工多能性幹細胞）の発見がありました。海外では、ユーロー圏と呼ばれていますが、ヨーロッパの国々で単一通貨ユーローが流通し始めたのは2002年からのことです。現在、国内では選挙権が与えられる年齢を二十歳から十八歳へ引き下げるよう協議されており、実施される見通しです。卒業生の皆さんは三年後には投票し、政治参加する資格を得ることになります。

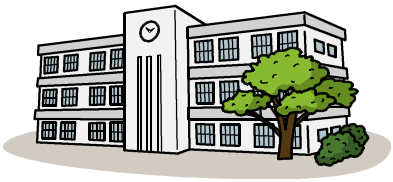
君たちが誕生してから、このように社会は移り変わっています。文明発展の恩恵を受けながらの生活となっていますが、個人の人生を豊かにする基礎は義務教育期間の育ちであり、家庭と学校の連携で培われるといっても過言ではないでしょう。自らの才能や思考力を向上させて、学び続ける姿勢こそが大切です。

これまでは少年と呼ばれることがふさわしい皆さんでした。次は青年というライフステージに進みます。皆さんの活躍を心から祈っております。

最後に、夢が現実へとつながる六つの言葉で励ましの詩を贈ります。

「夢」「目標」「努力」「成果」「実績」そして「現実」

「夢」がある人は、やりたいこと、なりたいものが見えて目標を持てる
「目標」がある人は、努力するようになる
「努力」を続ける人は、やがて小さな成果を手にする
「成果」の積み重ねが、実績へとつながる
「実績」が認められて、夢は現実のものとなる



卒業生の皆さんへ、
よいご縁に恵まれますように。
以上、はなむけの言葉といたします。

平成27年3月11日

伊丹市立西中学校長